

Weekly Report

テーマ / メンバー卓話 : 石原彰久君

日 時 / 2010年7月22日(木) 19:00 ~ 20:00

場 所 / カトリック布池教会内 聖ヨゼフ館



2010 11年度国際ロータリーテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ

2010 11年度クラブ運営方針
「与え続ける心を持とう」

会 長 : 青木 昭憲
副会長 : 田中 利幸
幹 事 : 岡田 浩人
例 会 : 毎週木曜日
会 場 : カトリック布池教会内聖ヨゼフ館
住 所 : 名古屋市東区葵1 12 23
電 話 : 052 935 7790

第239回例会(第4回)

例会出席率

今 回 (7/22)		前 回 (7/15)		前々回 (7/8)	
会員数	26名	会員数	26名	会員数	26名
出席数	15名	出席数	14名	出席数	16名
欠席数	11名	補填数	5名	補填数	4名
出席率	57.7%	出席率	73.1%	出席率	76.9%

斉唱

ロータリーソング『奉仕の理想』

ビジター紹介

本日はいらっしゃいませんでした

今月のお誕生日

4日 柴田 真由美 さん 14日 谷口 善彦 君

次回例会案内(第5回)

開催日時 / 2010年7月29日 10:30 ~

開催場所 / 三晃社(名古屋市中区丸の内3丁目20-9)

テ - マ / 蜜蜂見学、蜜の採取 例会変更

ニコボックス報告

年 間 予 算	前回までの累計	本日
450,000円	37,000円	3,000円

浅野君 石原さん、新店OPENおめでとうございます。
卓話よろしくお願ひします。

岡田君 同上

山田君 同上

会長挨拶

青木昭憲



一昨日、今年度第一回目の理事会が開催されました。まだ活発な意見交換とまではいきませんが、各委員会からの報告を受け、スムーズに新年度のスタートを切れたのではないかという印象を受けました。

またロータリーの定款変更に伴いクラブ内の細則・内規についても変更が生じて参りますので、また改めて皆様にはご報告させていただきます。

ていただきたいと思ひます。

さて、私事ですが先週、とある会の研修旅行で台湾に行ってみました。台湾には蒋介石を祭る大きな建造物があり日本ではあり得ない無駄と思えるほどの規模で大変驚きました。

台北101や故宮博物館にも行きましたが、名古屋とは違って観光で案内できる場所が沢山あることを羨ましく思ひました。博物館では現地のガイドさんに大変興味深くまた楽しく案内をしていただきました。

中でも印象的だったのが、漢字の話です。

「家」という漢字、これは「うかんむり=屋根」屋根の下に豚がいる。という事だそうです。詳しく言ひますと、昔中国では通貨よりも豚が沢山いる事が裕福である証だったようです。

豚を外で飼うと盗まれたりする事から家の中で飼育するようになった。そしてその豚がその家の経済を支えるという意味

からこの漢字ができたとの事。または豚や財産を入れて置く建物が「家」と記述されている場合もあるそうです。

もうひとつは「酉」という漢字。これはある壺からきています。壺の形が「酉」という漢字の形を生み、その壺の上の方に型取られていた模様が鳥の顔だったから「とり」と呼ぶようになったそうです。

更に興味深かったのは、昔から言う「酉の刻」。これは17時~19時を指しますが、昔仕事で疲れて帰宅した男達は、喉を潤すために酉の壺で水分を取るようになった。水とは即ち水(さんずい)を表します。これをくっつけると「酒」という字になる。酉の刻に飲んでいたものが「お酒」であったことから酒という漢字ができたという話です。

ですから酉の刻より前にお酒は飲んではいけませんという事になりますね。

幹事報告

岡田浩人

・地区大会(場所:ウエスティンナゴヤキャッスル)の案内が届きました。WEB登録をお願いいたします。

11/20(土) 出席義務者:地区役員、会長、幹事、各委員長

11/21(日) 出席義務者:当クラブは例会変更のため全員出席となります。



日本において、健康に関する関心は近年では社会全体の高齢化や扇情的なマスメディアの内容・インターネット等の媒体による情報過多により、ますます強くなる傾向にあります。

古くから「たくさん働けばお金が多く手に入り、幸せになれる」や「たくさん働くためには健康でなければならない」という価値

観の元、健康に対する信仰は存在していたものの、特に現代社会では様々な産業分野でこれらの不安を煽りつつ、自社製品やサービスを宣伝する業者も多い事から、更に加速しやすい背景がある。そのため現代において健康は、何かを達成するための手段ではなく、健康自体が目的となっている傾向も見出され、この「健康になるための手段」に対する汎社会的な流行が興っています。

対象は、健康食品・ポリフェノール・ビタミンやアミノ酸などサプリメント・ミネラルウォーター・ダイエットグッズ・健康グッズ・スポーツ・ジョギング・ウォーキング・温泉ブーム等、さまざまあります。

< 流行と科学的・医学的な妥当性 >

マスメディアで健康関連の情報が扱われる場合、専門家にお墨付きを貰ったり、学会で発表された説であるという点がしきりに強調される。

しかし、専門家と名乗る人物の博士号がディプロマミル（証書工場 / 実際に就学せずとも金銭と引き換えに高等教育の学位を授与する機関・組織・団体・非認定大学のこと）からの"学位"であったり、あるいは所定の学業を修めて獲得された本物の

博士号を持つが関係ない分野の博士号で、専門外の分野に口を出しているだけというものも見られる。

他方では、学会で発表された学説と言いつつ、ただ独自の理論として発表しただけで、何の追試も検証もされていない単なる仮説であったり、甚だしい場合は、その仮説を主張する本人ないし関係者が立ち上げた、名ばかりの学会に過ぎないことさえある。バイブル本の問題のように、ある健康法に対する宣伝のための媒体としての書籍も数多い。

また、市場にとめどなく投入される健康商品であるが、必ずしもそれが健康に寄与するわけではない。時には、逆に健康を害することもあるが、近年の中国製ダイエット茶による死亡事故などを通じて知れ渡り、大きな社会問題に発展するケースも見出される。

< 健康ブームにまつわる問題のあった事例 >

ツイスター（健康器具） ジョギング・ウォーキング
ダイエット チョコレート・ココア アマメシバ（植物）
エフェドラ（漢方薬） マイナスイオン ザクロ
入浴健康法

日本においては、過去に幾度となく健康ブームの影で様々な問題が発生しており、その都度、過度な健康信奉に警鐘が鳴らされることがある。

だが、その問題が忘れ去られる間もなく、新しい健康法が流行るのが常である。